

- 特集
畿央大学開学10周年にあたって
理事長 メッセージ
健康科学部・健康科学研究科のめざすもの
教育学部のめざすもの
卒業生からのメッセージ
記念モニュメント・ロゴの紹介
- シリーズ VOICE
- シリーズ 私の先生・私の教え子



▲畿央開学10周年記念モニュメント「徳知美」
詳細はP.11をご覧ください



畿央大学開学10周年記念イベントレポート

理学療法特別講演会

8月24日(土)11時～

心臓外科のプロフェッショナル松田暉先生(大阪大学名誉教授)に「プロフェッショナルとしての理学療法士への処方箋」をテーマに講演していただきます。
※卒業生においては、講演会終了後、昼食を兼ねた懇親会(食堂棟)を行い、午後から卒業生シンポジストによるプレゼンテーションを行いますので、ぜひご参加ください。



『絹谷幸二画伯』特別講演会

6月15日(土)午後、畿央大学の開学10周年を記念して、奈良県が生んだアフレスコ画(壁画)巨匠の絹谷幸二氏をお招きして、美に対する考え、故郷奈良への思いを約1時間30分にわたって語っていただきました。

教育学部シンポジウム



6月29日(土)13時より教育学部のシンポジウム「21世紀を生き抜く子どもの学力形成」を開催しました。
文部科学省が捉える21世紀知識基盤社会で、教育者はどのように子どもたちの能力を育て学力を形成するかについて、教育の第一線でご活躍中の先生方(名古屋大学名誉教授：安彦忠彦先生、京都大学教授：松下佳代、学研エデュケーション教務部長：青木聡、本学教授：西端律子教授)をお招きして講演会とシンポジウムを行いました。

看護医療学科シンポジウム

8月31日(土)13時～

「いのちに寄り添う看護」をテーマに藤腹明子先生(淑徳大学客員教授)による基調講演、学生の学び発表、15時20分～パネルディスカッションを行います。
※シンポジウム後、奈良県内で看護を学ぶ学生たちや指導者様と情報交換会を実施しますので、あわせてご参加ください。

臨床栄養シンポジウム



7月7日(日)午前、卒業生による活動報告会を開催しました。食品メーカーからフィットネスジム、病院の管理栄養士まで様々な分野で活躍する卒業生が現在の仕事ぶりを報告しました。午後からは「これからのチーム医療」をテーマにシンポジウムを開催。伊賀市立上野総合市民病院長の三木哲雄先生による基調講演では、チーム医療の重要性はもちろん、管理栄養士の必要性を熱く語って頂きました。初めて開催された在学生・卒業生・教職員を交えた情報交換会では、卒業年度の枠を超えて積極的に交流する姿が見られました。

編集後記

今年は、畿央大学開学10周年記念イベントが実施されるなかで、初めて大学のキャンパスに来てくださるという方も多数おられます。素敵な歴代の卒業生の皆さんにお会いすることによって冬木学園の足跡と絆の強さを改めて感じる事ができ、また未来への飛躍もリアルにイメージできました。(M)

愛と絆 魅力ある未来へ

冬木学園理事長
畿央大学学長
冬木 智子



真美ヶ丘との出会いをきっかけに 畿央大学の開学を決意

今年度、畿央大学は開学10周年を迎え、5月に10周年記念式典を無事、挙行することができました。振り返ってみれば、私が真美ヶ丘に畿央大学の開学を決意したのは、今から12年半前のことでした。畿央大学の前身である桜井女子短期大学の事務局の先生に「真美ヶ丘で開発が進められているので見に行きませんか」と誘っていたからです。その先生の車に乗って田園地帯を抜けて辿り着いたこの土地では、ちょうど大きなトラックが埋め立て工事を行っている最中でした。高台に立ってみると、目の前に町並みが広がり、その向こうには二上山が見えました。山の辺の道近くで生まれた私は、山々の稜線が夕焼けに染まる美しい風景を見て育ちましたが、その山こそ目の前に聳える二上山だったのです。その光景を見て、昔憧れた山が間近に見える真美ヶ丘との不思議な巡り合わせに、高等教育への夢を叶える場所を見つけたと感じました。そして、その日のうちに大学開学を固く決意したのです。

開学にあたって最初に考えたのは、何学部を設置するかということでした。まず、人の役に立つ人生を全うするためには健康であることが大切と考え、

健康を保つための研究をする健康科学部を設置。その学科として、当時はまだ専門学校が多かった理学療法学科、健康を左右する栄養を研究するための健康栄養学科を設けました。また、住居や衣服などの材質やデザインなども健康に影響すると考え、それらを研究する人間環境デザイン学科を設置することにしました。

開学の申請準備で最も大変だったのは、教員の人选です。というのも、業績や履歴を吟味し、文部科学省の教員審査に適合する見込みのある優秀な方を獲得しなければならなかったからです。そうした苦労を経て無事認可されたのも、多くの方々の協力があったからです。本当にありがたく思っています。

小学校での経験が導いた教育者への道

私の畿央大学開学に至る人生をさかのぼると、思いつくのは小学校での経験です。

私が通っていた小学校は、家から歩いて小一時間もかかる場所にありました。通学路は舗装されていない砂利だらけの道で、その道中は決して楽なものではありませんでした。それでも、一日も休まず通いました。なぜなら、学校に行けば先生がおられて一緒に学び遊べる友達に会えたからです。

先生が黒板に書かれた文字、話された言葉、描かれた絵ははつきりと覚えています。担任の先生と校長先生の名前は今も忘れることができません。記憶は衰えると言いますが、何十年経った今でも色や音まで鮮明に覚えています。それほど、小学校での学びの経験は感動的だったのです。

恩師と級友に恵まれ、学校が大好きになった私は、高等女学校、女子専門学校へ進学し、卒業後は母校の女学校から依頼され、教壇に立つことになりました。こうして教育者としての人生をスタートさせましたが、母校でしばらく教鞭を取った後、恩師の仲人で結婚退職しました。そのときは、今後は実家の跡継ぎとして、そしてよき妻として当時の女性らしく暮らそうと思っていました。

ところが、退職後すぐに3人の教え子に「なんでもいいから教えてほしい」と言われたことをきっかけに、実家の広い座敷を教室にして再び教育に携わることになりました。思えば、それが私の学校づくりの始まりです。その後、高等学校、短期大学、幼稚園を設立しました。そして10年前「短大では研究・学問を求める学生たちの希望に応えることはできなくなる」と時代の変化を感じ、畿央大学の開学に至りました。

こうして人生を振り返ると、私の教育者としての人生は、小学校での感動的な経験があったからこそだと思えます。そうでなければ、私の人生はもう少し違っていたかもしれません。

祖父母の教えを礎に人格形成を 重んじた教育に取り組む

さまざまな年代の子どもの教育に取り組むなかで、私が一貫して力を注いできたのは人格形成です。人にとって大切なのは「人が人としてどのような生き方をするのか」ということ。この教育哲学ともいえる思いは、幼少の家庭環境で自然に育まれました。当時私は両親と祖父母と暮らしており、彼らは「人の命を大事にすること、人の言葉を大切にすること、

と」と、人として何が大切なのかを囁んで含めるように教えてくれました。祖母に言われた言葉は今でもはつきりと記憶に残っており、それが「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」という建学の精神の礎となっています。

今は高齢者と暮らす若い人は少ないでしょうし、人格形成に必要なことを論じてくれる両親を持つ若者もそれほど多くないでしょう。そうした若い人たちの祖父母、両親の代わりとなって、生きる上で大切なことを教えたいと思ったことは、開学の動機のひとつです。そして、学校づくりを始めた頃から抱き続けている「学生に心身ともに自立し、社会に役立つ人になってもらうために、できる限りのことをしたい」という思いを胸にこの10年間、教育に取り組んできました。

魅力ある学校づくりで学生たちの 輝く未来を応援

畿央大学開学後の10年の歩みはとても順調で、本年度は定員450名に対し、1万名を超える志願者がありました。その理由は、若い人たちが、設置している学部学科に魅力を感じているからだと思えます。また、国家試験合格率が全国でトップクラスであることも吸引力となっています。

開学10周年にあたって、これまで協力してくださった方々への感謝の気持ちと、次の夢を育んでいくという決意を「愛と絆 魅力ある未来へ」という言葉で表しました。愛とは、人の喜びや悲しみを心から察し、人の幸せを願う「無私」の心です。私は常にそういう心で学生と接する自分でありたいと願ってきました。この思いは私だけでなく、先生方をはじめ職員の方々、そして建学の精神を通じて学生みなさんにも浸透しています。そして、畿央大学で学んだ学生たちには、「生まれてきてよかった」「社会貢献できてよかった」と思える人生を送ってほしいと願っています。

健康科学部・健康科学研究科のめざすもの

—科学に基づいた健康生活に寄与する—

畿央大学は今年開学10周年を迎えました。私が赴任した平成19年は、初めての卒業生を送り出した直後でした。人の年齢でいえば4歳、幼稚園の年中組で、やっと一人で歩ける年齢です。それが今年10歳を迎えました。すなわち小学校4年生です。元気に駆け回ることのできる年齢になりました。私自身本学に赴任して以来、常に畿央大学の年齢と成長を感じてきました。ここまで一丸となって努力してこられた学生、教職員の皆様に敬意を表するとともに、温かく支えてくださった保護者や地域社会の方々へ感謝します。あと10年して成人式を迎える年齢になります。その頃にはしっかりと自立した大学にならねばなりません。

さて、これからの10年間、本学、特に健康科学部と健康科学研究科は何をなすべきでしょうか。大学院健康科学研究科が発足した時以来、私は「健康科学」を確立することが重要であると考えてきました。日本は長寿社会となり、誰もが健康に深い関心を抱いています。世の中に健康食品があふれ、スポーツジムが繁盛し、テレビや新聞にはサプリメントや様々な健康法の広告があふれています。しかし、これらの中には、科学的な根拠に乏しく、単に儲け主義に走っていると思われるものも多々見受けられます。健康を増進するどころか却って健康を害するものさえあります。広告宣伝を盲信することには危険性が伴います。このような現状を考えると、健康食品や健康法の効果を正しく認識し、評価することは極めて重要です。

そのためには、まずさまざまな健康食品や健康法を科学的な根拠に基づいて研究し、その効果を正しく評価すること、そしてその結果を社会に還元・普及させることが必要になります。健康科学部の理学療法学、看護医療学、健康栄養学、環境デザイン学はまさに健康を科学する学問領域です。また大学院健康科学研究科もこれを先頭に立つて推進するのがその使命です。大学院健康科学研究科がスタートして1年

健康科学部長・
大学院研究科長
金子 章道



目、文部科学省の委員による実地検査がありました。その時、ある委員の先生から「健康科学という学問領域はまだ確立されていない新しい学問領域ですね。どのようなことを研究するのでしょうか」と尋ねられ、それに対し研究科長としての私は、「おっしゃる通り、現状では未熟な領域ですが、本学においてこの分野を確立したいと思っています」と大見得を切ったことを思い出します。学部生の卒業研究や、大学院生の研究論文、博士論文を見ているとその方向に向かって着実な歩みを続けていることが感じられます。これからの10年、この歩みをさらに確かなものにして、その成果を広く社会に還元し、多くの人々が健康で幸せな生活を送ることができる世の中にするに寄与すること、それが本学の健康科学部と健康科学研究科に課せられた大きな課題であると考えています。

教育学部のめざすもの

—現代社会の教育ニーズに応える—

平成25年5月26日(土)の本学開学10周年記念式典には、多数の方々のご臨席の下、成功裡に式典を挙行できましたことを大変嬉しく思っています。ご多忙のなか、ご出席賜りました方には厚くお礼を申し上げます。本学は開学して10周年、教育学部は平成18年4月1日に開設のため7周年になりますが、この短い期間に本学は、教育・研究の実績や社会貢献が認められ、高い評価を受ける大学への成長・発展しております。これも日頃さまざまな形で本学にご支援、ご協力をいただいております皆様のお力添えの賜物であると感謝申し上げます。

開設以来、教育学部では教職員一同、建学の精神「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」を教育の根本理念とし、豊かな人間性と実践的指導力をもった教員を始めとする人材を育成し、わが国の教育の発展に貢献したいという強い願いをもって今日まで努めて参りました。そうした教職員の熱い思いと一体となった取り組み、そしてわれわれ教職員の期待に見事に応えてくれている目的意識の高い学生たち、こうしたものが相まって、卒業生の約8割が就職関係の仕事に携わり、教員採用試験の合格率も全国有数の数字となって現れていると思っております。

本学では、昨年度以来、建学の精神を生かすべく授業科目としての「生命倫理」を全学必修とし、「西洋哲学」「東洋思想」を推奨科目とするなど豊かな人間性を涵養することを目的とした教養教育の改革や、新入生の学力向上を図り将来の進路を確かなものとする初年次教育の導入、専門教育の一層の充実と発展、学生生活を豊かで充実したものにする心の支援を始めとする各種の支援活動の促進などの改革を進めて参りました。こうした改革に加えて、10周年を基点として新たな中長期計画の下、さらなる発展のための企画がなされております。教育学部については来年度以降、定員増を含む学部の改組、

教育学部長
白石 裕



大学院修士課程の設置、特別支援学校教員免許状の資格付与などが予定されております。

かつて、スウェーデンの教育思想家エレン・ケイは、20世紀を「児童の世紀」だと述べましたが、その言い方に做えば、21世紀は「教育の世紀」だといえましょう。多くの国は競うかのように教育改革に力を注いでいます。そしてその内容は大きくいえば、一つは、グローバルスタンダードの学力を子どもたちに身につけさせること、そしてもう一つは、道徳教育の促進です。教育は個人のためだけではなく、社会のためにもあるということです。21世紀を生き抜くトータルな人間教育をめざす、それが現代の世界の教育改革の方向などいえましょう。そしてそれはまた本学の建学の精神のめざすところではないかと思えます。

社会における教育の重要性が増しているという認識の下、われわれ教育学部においても、新たな中長期計画のなかで教育・研究の一層の充実・発展を図るとともに、その成果を社会に還元し、現代社会の教育ニーズに積極的に応えるよう努める所存であります。

皆様方におかれましては、どうか従前にもまして、本学にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記念式典での卒業生メッセージ

— 畿央大学での学びを地域に還元 —

健康科学部理学療法学科5期生の吉川奈々です。西大和リハビリテーション病院の理学療法士として勤務しています。当院は回復期リハビリテーション病棟を持ち、急性期病院で医学的治療を終えられた後、リハビリテーションを受けるために入院してこられます。身体機能の改善や歩行などの基本的動作能力の向上を目的に、理学療法を提供しています。私の職場は畿央大学の卒業生が多く、理学療法学科長である庄本先生をはじめとした大学教員の先生方とともに臨床研究にも盛んに取り組み、理学療法のさらなる発展をめざしています。

学生時代は、様々な分野でご活躍されている先生方が、最新の知識を提供してくださり、授業以外の時間にも指導していただきました。アットホームで熱心な先生方に恵まれ、理学療法の魅力を教えていただき、今でも何かあれば親身に相談に乗ってくださいます。

畿央大学では卒業研究を通じて研究というものの基礎やその意義を教えてくださいました。就職してからも、科学的根拠に基づいた理学療法を展開することや、臨床研究を通して、臨床で抱いた疑問を自ら明らかにしていく重要性を感じています。また、学生時代には熱意ある仲間と真剣な議論を交わしたり、遅くまで実技の練習をするなど、密度の濃い時間を送りました。賑やかで活発で、勉強以外でもキャンプ、ヨーロッパ旅行など、イベントを企画し、楽しく過ごしました。臨床実習や卒業研究、国家試験など試験もたくさんありましたが、仲間にも本気に助けられ、今でも同期の仲間の存在は心の支えであり、その活躍が刺激となっています。

本学の建学の精神である「徳をのぼす」こと、すなわち相手に対して畏敬の念を持ち、相手の主にならぬという病棟は精神科救急病棟で、主にうつ病や統合失調症の急性期症状を呈している患者様のケアにあたっています。私が精神科という分野に進むことを決めたのは、学生時代の実習で出会った患者様がきっかけです。精神科の実習ではなく、老年期看護で出会った患者様でした。その方は身寄りがなく、病気の症状により上手く言葉を話すことができない方でした。初めは話していることも上手く聞き取れず、患者様を苛立たせてしまうこともあり、関わりを拒否されることもありましたが、関わるうちにその患者様の伝えたい言葉が聞き取れるようになりました。実習中のある日、患者様は突然声を上げて泣き出し、途切れ途切りに話しはじめました。「自分が生きていくために必要なことは治療や食事だということばかりかっている。だけどそんなことよりも、こうやって誰かに話を聞いてもらいたかった。一緒にいて欲しかった。」その言葉を聞いたときに、私は疾患を見ることはもちろん、対象である人の心を見ることのできる看護師になりたいと感じました。こう思うことができたのは、畿央大学の先生方の手厚い指導のおかげでもあります。日常の授業だけでなく、実習中も学生のサポートをしてくださり、勉学の面だけでなく、精神的にも先生方の支えがあったからこそこのような実習を含め、4年間を乗り越え、今こうして看護師として働くことができているのだと思います。

記念式典での卒業生メッセージ

— 建学の精神を胸に、初心忘れず —

看護医療学科1期生の村前莉沙です。現在は、3回生の時に精神看護学の臨床実習でお世話になった、財団法人信貴山病院ハートランドしぎさんで勤務しています。私の勤務している病棟は精神科救急病棟で、主にうつ病や統合失調症の急性期症状を呈している患者様のケアにあたっています。私が精神科という分野に進むことを決めたのは、学生時代の実習で出会った患者様がきっかけです。精神科の実習ではなく、老年期看護で出会った患者様でした。その方は身寄りがなく、病気の症状により上手く言葉を話すことができない方でした。初めは話していることも上手く聞き取れず、患者様を苛立たせてしまうこともあり、関わりを拒否されることもありましたが、関わるうちにその患者様の伝えたい言葉が聞き取れるようになりました。実習中のある日、患者様は突然声を上げて泣き出し、途切れ途切りに話しはじめました。「自分が生きていくために必要なことは治療や食事だということばかりかっている。だけどそんなことよりも、こうやって誰かに話を聞いてもらいたかった。一緒にいて欲しかった。」その言葉を聞いたときに、私は疾患を見ることはもちろん、対象である人の心を見ることのできる看護師になりたいと感じました。こう思うことができたのは、畿央大学の先生方の手厚い指導のおかげでもあります。日常の授業だけでなく、実習中も学生のサポートをしてくださり、勉学の面だけでなく、精神的にも先生方の支えがあったからこそこのような実習を含め、4年間を乗り越え、今こうして看護師として働くことができているのだと思います。

畿央大学には3つの建学の精神があります。「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」です。学生時代は実はいまいち意味がわかっていませんでした。また、この3つのために何か取り組もうと考えたこともありませんでした。しかし、今社会に出てから気づいたことがあります。畿

もつ痛みを理解することを、私は患者様と関わる上で一番大切にしています。特に目上の患者様と関わる人が多いのですが、患者様から教えていただくことが多く、私も日々成長させていただいています。「知をみがく」こと、すなわち、知識欲を失えばただ退歩あるのみ」という教えを心に留め、医療従事者として邁進することを心がけています。「美をつくる」こと、すなわち目に見えないものも含め五感に訴える美を創造し、他者に美を与える活動をするということは難しいものです。しかし私は出来る限り患者様とその家族様とのつながりを大事にし、言葉にできない訴えも感じ取れるよう努力しています。私は理学療法士として、畿央大学で学んだことを、この地域で還元できることを、これからもめざしていきます。

理学療法学科
2011年3月卒業(5期生)
吉川 奈々

〈理学療法士〉
医療法人友誼会
西大和リハビリテーション病院勤務



央大学で過ごした4年間で、気づかないうちにこの建学の精神は私たちの中で培われていました。ありのままの自分を認め、できないことではなく、できることに目を向ける。学んだことをそのままにせず、さらに学びを深めること。見た目だけではなく内面を豊かな人間に成長すること。当たり前のように私たちの身につけていること。大切なことは、社会に出てから如何に大切なことだったかと気づきました。社会に出てもうすぐ一年、入職したての頃は、新しいことばかりを得ないといけないと二人で焦って、自分の持っているものに目が向けられなくなり、自分を否定してしまい、心の余裕がなくなり、仕事を続けることがつらくなった時期もありました。そうしたときにこの建学の精神を思い出し、自分を見つめなおすことができました。そして自分の中に自然とこの精神があることを感じました。卒業した今、目には見えなくても畿央大学で得た私の財産です。これから先、幾度となく自分を見失ってしまうことがあると思います。しかし、その度にこの建学の精神を胸に、初心を忘れず取り組んでいきたいと考えています。

看護医療学科
2012年3月卒業(1期生)
村前 莉沙

〈看護師〉
一般財団法人信貴山病院
ハートランドしぎさん勤務



記念式典での卒業生メッセージ

—先生方は私にとって理想の教師像—

健康科学部健康生化学科健康栄養専攻1期生の鈴木慶一です。現在は大阪市の中学校で家庭科の教諭をしています。2年生の担任です。健康栄養の1期生として入学しました。難しい授業もありましたが、栄養のことについて学んでいくことは楽しかったです。

実習は病院と保健所の他に河合町立河合第一小学校へ行きました。給食を作る施設での栄養教諭、調理師の方たちの仕事を学ぶとともに、一緒に給食を食べたり、遊んだりして子どもと関わることの楽しさを知りました。また、最終日には栄養の働きによって食品を3つに分ける学習をしました。児童に赤・黄・緑のバンドを頭につけてもらい、児童が食品となり3つの食品群に分かれていきます。バンドなどの教材は、一緒に実習に行った仲間と徹夜で作ったものです。自分の作った教材で児童が楽しそうに動いている。何とも言えない充実した気持ちになりました。頑張った分だけ返ってくる、子どもに伝えることの楽しさを知りました。

大学卒業後に、教育大学の大学院へ進みました。大学で学んだ栄養に関する知識を活かしたかったため、中学校の家庭科の先生になりました。建学の精神でもある「知をみがく」ことは、糖度計を使用した授業などを展開して、授業で活かされています。これからも知をみがき続けていきたいです。

また、畿央大学は私の青春でもありました。やりたいことを見つけ、畿央大学の学生自治会である畿友会の会長や学園祭の実行委員長、オープンキャンパスのスタッフとして仲間とともに楽しみ、助け合い1期生として畿央大学を作っていたことは最高の思い出です。仲間だけでなく、常に近くには大学の先生や事務の方、エンドユーザーが相手であるため苦労や苦難は多々あります。しかし現場が完成しお客様の顔に喜びが見えた時、それが大きな達成感となり、日々の原動力になっています。苦難に落ちいった時、思い返すのは、「やっぱり自分は建築が好き」ということです。

家が完成した時のお客様の喜びを受け止めた。そんな想いで建築の世界に飛び込み、今は業界No.1のハウスメーカーでの施工監理担当として、日々エンドユーザーが求める家づくりを行う建築現場の最前線にいます。

私は畿央大学で過ごした4年間で、建築が大好きになりました。正直、入学当初は、建築に対して漠然としたイメージしか持っていませんでした。しかし日々の演習や共に切磋琢磨した仲間たちから刺激を受け、徐々に建築の魅力にはまりこんでいきました。設計演習やゼミでの課題を重ねる度に、先生から叱咤激励をいただき、自分の視野の狭さや考え方の硬さに苦しみました。しかし、先生からのその言葉があったからこそ、「もっといいものを作りたい」という情熱に火が灯り、課題に積極的に取り組むことが出来ました。私はアイデアが煌々天才型ではありません。努力を重ね、積み上げ築きあげていくタイプです。それを分かって下さったのも、先生でした。

設計演習で共有・共同利用の施設を持った集合住宅を設計する課題がありました。集合住宅を一つの家族のようにしたいというテーマが決まった後に、計画がなかなか進まないで悩んでいた私に先生から「アイデア一発の勝負にこだわらず、もっと考え込んで創ってみる」とアドバイスをいただきました。私はその言葉から、大人数が共に生活する建物の中でそれぞれの空間から視線が交差しないよう、窓や間取りの計画の細部にこだわって、プライバシーをさりげなく確保出来る様に設計をしました。

そのとき、自分が「丹念に作りこむことを大切に出来る」という方向性を持っていることを知ることが出来ました。

がいてくださいました。実行委員長として皆をまとめ上げることができずに悩んでいるときは先生が研究室で悩みを聞いてくれました。先生方の姿勢は、私にとっての理想の教師像です。中学生と大学生で年齢は違えども、ときに厳しく、共に感動を分かち合い、常に愛情を持って接する教師でいたい。畿央大学での素晴らしい出会いにより、建学の精神である「徳をのばす」ことが出来ました。この出会いは一生の宝です。私自身も出会えてよかったと思われるような教師になりたいです。

これからは苦労はあると思いますが、今のうちにたくさん苦労をし、自分を磨いていきたいです。苦労をしながらも徳をのばし続け、知をみがき続け、高い精神性を持つ実りを獲得し、3つ目の建学の精神である美をつくってまいります。

健康栄養学科
2007年3月卒業(1期生)
鈴木 慶一

〈家庭科教諭〉
大阪市立大正西中学校勤務



また、当時はパソコン作業ではなく手描き図面にこだわり、何度も図面を描きなおして自分が満足出来るまで線を引き続けました。まわりから見れば同じ作業を繰り返してムダに見えたかもしれませんが、一枚一枚描き上げる度に発見とこだわりが深まっていきました。そういった「目指すもののために努力が出来ること」も私が学生生活で得た強みの一つです。これは今でも自分の強みとして大切にしています。

仕事で膨大な量の作業や、途方も無い難しい案件が立ち回ったとき、逃げず負けずとにかく食らい付き、ゴールを目指してがむしゃらに進むことで、解決してきました。この強みを今堂々と実践出来ているのは、やはり建築を好きだという想いの一心に尽き、その想いを今でも大切に出来ているのは、助け合い競い合った仲間と尊敬する先生方とともに過ごした大学生活があったからです。そしてそれは私を建築の世界へ踏み込むことに背中を押してくれた日々とも言えました。

間違いなくこれからも多くの苦難が待っています。しかし私は学生生活で得たものを信じ、臆せずにこれからも走り続けます。

人間環境デザイン学科
2010年3月卒業(4期生)
廣岡 学

〈生産職(施工管理)〉
住友林業株式会社
大阪南支店勤務



記念式典での卒業生メッセージ

—自分にとって帰りたい思える場所—

教育学部現代教育学科1期生の門積健太です。地元兵庫県で小学校教諭をしています。教職に就き3年が経ちました。大学の4年間は人生の岐路でした。私自身の性格と、また私自身の考え方が畿央大学とびつたり合いました。よかったです。教育学科の1期生である私にとって大学という場所はとも大きく、先輩がいなくても不安でした。しかし、クラスメイトとは授業が終わればご飯を食べに行くのが日課になり、講義のこと、一人暮らしの悩みなどいろいろ話をしました。また担任の先生には、悩みや、時には愚痴を聞いてもらう事もありました。私が勝手に思っていたのですが、担任の先生は「奈良のお母さん」のような存在でした。

人と付き合う力を育むことができました。そして、みんなで一つの目標に向かう楽しさを教えてもらいました。これは、今のクラス作りにも大きく影響しています。

毎年、修了式の日には子どもたちに伝えることがあります。それは「いつでも帰っておいでよ。苦しいこともあったけど乗り越えたよ。最後はみんなでこうして笑えたよ。帰れる場所があるというのは、いつも自分の勇気になるよ。帰る場所は逃げるためにもある。でも先生は前に進むためであると信じているよ。」私にとって、帰る場所。それは間違いなく「畿央大学」で過ごさせていただいた4年間です。そして、帰りたい場所は4年間でお世話になった先生方や仲間とのそばです。自分にとって帰りたいと思える場所、そして、前に進む勇気をもらえる場所、また会いたいと思える仲間、さらに頑張ろうと励まし合える仲間をつくってくれた大学に感謝します。

次によかったのが、どんな活動にも大学が積極的な支援をしてくださったことです。私が担任した子どもは延べ100人近くになりました。私が教師という仕事は授業を教えるプロである以上に「人付き合いのプロ」だと思ってしまうようになりました。どれだけ楽しい授業をしても、真剣に叱っても、子どもたちとの関係がうまくいっていないと効果はありません。保護者、同じ学校の先生、地域の方、子どもに関わるすべての人ともよい関係を築き、付き合いしていくことは、教育を進めていく上で本当に大切な事だと思います。「人との付き合い方」というのは、大学で学ぶにはなかなか難しいものがありますが、畿央大学にはたくさんの人とつながるための仕組みが充実していました。私は「教職クラブO DEN」「学習キャンプ」「マミポコ」などたくさん活動の立ち上げに参加しました。時には仲間とぶつかったり、傷つけたり傷つけられたり、でも最後はみんな笑顔になったりすることで

現代教育学科
2010年3月卒業(1期生)
門積 健太

〈小学校教諭〉
(兵庫県)宍粟市立城下小学校勤務



建学の精神を具現化した、
畿央大学の新しい「顔」が誕生。

◆ 開学10周年記念モニュメント「徳知美」◆



▲大学正面玄関前に設置

畿央大学開学10周年を記念してモニュメント「徳知美」が畿央大学後援会より大学に寄贈されました。このモニュメントは、人間環境デザイン学科の加藤信喜准教授によりデザイン・制作されたものです。2013年3月19日(火)平成24年度卒業式にあわせて、除幕式が行われました。

このモニュメントは建学の精神「徳をのぼす・知をみがく・美をつくる」を形にしたものです。全体を取り囲む楕円形の境界は大海原を表現しており、学びの皿になります。その学びの皿一面に白砂利を敷きつめることで、穏やかに満ちた水面を表します。その水面から立ち上がる3つのアーチは「徳」「知」「美」を示す水柱です。それらが学園に見立てた輪に集まって流れ込みます。

空間のみならず時間をつくりだせるモニュメントでありたいと願い、同時に畿央大学がモニュメントと共に十年・百年・千年と永く繁栄することを祈ります。

人間環境デザイン学科准教授 加藤 信喜

◆ 開学10周年記念ロゴ ◆



「愛と絆 魅力ある未来へ」のキャッチコピーをもとに、「愛」をハート、リボンを結ぶことで「絆」を表しています。リボンが上へ、広がりながら伸びていく様は、これからの畿央大学の未来へ羽ばたくイメージを表現しています。

畿央大学開学10周年記念募金

目的 畿央大学開学10周年記念事業に要する資金調達及び教育・研究・地域貢献事業の基盤確立のため

期間 平成24年10月～平成26年3月31日

募金目標 1億円

募金方法 個人/1口 5,000円
なるべく2口以上のご協力をお願いします。
※金額にかかわらず、1口もしくは1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

法人/1口の金額は特に定めておりません。

申込方法・税制上の優遇措置については下記にお問い合わせ下さい。

冬木学園 法人事務局総務部 (担当: 植村・竹本)
Tel: 0745-54-1602
E-mail: soumu@kio.ac.jp

冬木学園を支えてくださるみなさんからのメッセージをご紹介します。

エコキャップリサイクルなど さまざまな連携をしています

株式会社 関西都市居住サービス
SC活性化(エコールマミ) 理事

小櫻 省仁 さん



「人の命はお金では買えません。」との言葉は、折に触れ聞きますが、『人の命は、お金でも救えることは出来ません。』と、2008(平成20)年に、社団法人葛城青年会議所(40歳未満の若手実業家で構成)の方々

に誘われ、「クリーン&歴史ウォーク」で連携させて頂いている畿央大学のボランティアセンター様と共に『エコキャップ・リサイクル運動』に参加し、現在も運動を継続しております。

ペットボトルのキャップ8百個分(約20円)が一人分のワクチンに変わり、世界の子供の命が救えるというものです。運動には、趣旨にご賛同される近隣の皆様をはじめ、広域の市町村からも、お届け頂くこともありました。

現在までに約3百万個(ワクチン約4千名分相当)のエコキャップが届き、委員会へお届けしています。小さいキャップでも、多くの人の思いやりで、大きな贈り物に変わるものですね。



その他にも畿央大学には、授業の「環境デザイン学」や育児支援活動(看護医療学科)などさまざまな連携を展開させていただいています。

畿央大学生の皆様、これからも(お隣付合)宜しくお願い申し上げます。



子どもとの成長

長谷川 里香 さん

畿央大学付属幼稚園
さくら組園児
長谷川 優斗くん 保護者



今年度は父母の会の本部役員として活動させて頂くこととなりました。息子はバス通園なので、私自身は幼稚園に行く機会が少なかったのですが、幼稚園の様子を頻繁に見られるようになり、大変うれしく思っております。

園内を歩いていると「ゆうとくんのおかあさん！」と声を掛けてくれる子どもたちの記憶力、吸収力にはいつも驚かされます。「子どもは親の姿を見て育つ」と言いますが、自分の言動が感受性豊かな子どもに大きな影響を与えているのだと改めて実感しています。一方で、最近では多忙で一緒に何かをする機会も減り、時には些細なことでも叱ってしまい自己嫌悪になることもあります。そんな時に思い出すのは母親のおやつ味の味です。私の両親は共働きで料理は叔母が作ってくれていましたが、たまに作ってもらった母親の手作りおやつ味の味は、今でも鮮明に記憶に残っています。たとえ接する時間が少なくても、子どもと一緒にいる時には一生懸命向き合おうことが大事だと思いました。

父母の会の活動も含め、私も子どもから多くのことを学び、一緒に成長していきたいと思っております。



出合いを大切に

白倉 奈実 さん

関西中央高等学校
2011年卒業
学校法人吉住学園
カレス保育園 勤務



関西中央高等学校に入学した当初は、何かに積極的に取り組むわけでもなく、学校に通うのが一杯という生活を送っていました。そんな私を変えてくれたのは部活動での先輩方との出会いでした。時には厳しく、時には優しく先輩方が私を少しずつ変えてくれました。

3年生になり、卒業後の進路について担任の先生と話し合う中でも、沢山の事に気付かせてもらいました。頑固な性格だった私は、進路について自分が決めたとおりに進もうと考えていましたが、先生と話し合いを繰り返すことで、広い視野を持つこと、心に余裕を持つことを教わりました。関西中央高等学校で先輩方や先生方との大切な出会いがあったからこそ、今の私があるように思います。

現在は保育園で3歳児クラスの担任をしています。子どもたちは初めて家族から離れての集団生活を送っています。このクラスの子どもたちにとってお友達との出会いが大切なものになるように私も頑張っていければと思います。

村田ゼミで「おいね」を研究

重森 文二 さん

畿央大学
健康科学部人間環境デザイン学科4回生



はじめまして。人間環境デザイン学科4回生の重森文二です。4月から村田ゼミの一員になることが出来ました。そして、5期生の先輩から続いている「おいね」を卒業研究のテーマとして引き継がせていただくことになりました。

「おいね」は、奈良県と三重県にかけての大和高原で昔から愛用されてきた背中に背負う防寒着です。昔の人の知恵と知識が詰まった、省エネ、節電が叫ばれている今の時代にぴったりのグッズです。5期生の先輩がおいねの歴史を研究し、6期生の先輩がおいねを試作し、そして私は今年、次のことにチャレンジしたいと思っています。

1. 夏を快適に過ごす「夏にもおいね」を考案する。
2. 実際に着用した時の感覚を実験で確かめる。
3. 山添村で地元の方々や工房を作り、生産拠点を確保し、おいねの商品化を目指す。
4. 先輩方が実践されてきたように東北においねの温かさを届ける。

あと8ヶ月頑張りますので、先輩！みなさん！実習室を覗いてみてください。

私の先生

私の教え子

冬木学園では、豊かな知識や優れた技術を教えるだけでなく、心を通わせ、人としての生き方を伝えていく教育をめざしています。冬木学園各校で学んだ、学んでいる教え子と教員との交換メッセージをご紹介します。

伊藤 明子 先生「畿央大学大学院健康科学研究科 教授」 いつも変わらぬエールに感謝です



中居 由美子 さん
畿央大学大学院修士課程2013年修了
畿央大学看護医療学科講師
(2013年7月就任)

伊藤先生との出会いは、私の学生時代に看護学校で担任をして頂いたことが始まりでした。30年ぶりに事前相談で再会し、まさか覚えてくださっているとは思ってもやらざる顔を見た途端、旧姓と呼ばれとても感動しました。研究テーマが絞れない切迫した状況の私に、先生は「看護教育や学生のための研究をしてね」と何度も声をかけて頂き、私



もぶれることはありませんでした。また、いつも研究生のことを気に留め、タイムリーに参考になる情報を提供してくださり、午後10時過ぎまで先生の研究室で作業をしても、快く協力してくださいました。「大丈夫!!」できてるよ。これでいいよ」と、変わらないエールを送って頂きました。その度に不安は軽減し楽になったのを覚えています。教員と学生間の言葉ではなく伊藤先生の「人柄」だと思えました。何度か壁に当たり断念しそうになりながら修士を修了できたのは、先生がいつも変わらぬエールを送り続けてくださったお蔭だと感謝しております。

北田 善三 先生「畿央大学健康科学部健康栄養学科 学科長」 カッコイイお父さん



木村 佳樹 さん
畿央大学健康栄養学科2010年卒業
株式会社タカファーマシー勤務

とにかくずっと楽しい学生生活でした。6期生は、男女関係なくみんな盛り上がり学年でした。男はふざけてばかりでしたが、いつもみんなを盛り上げ、引っ張っていました。また、大学行事では代表として大全体を盛り上げ、頼れる仲間でした。一緒にいてとても安心できる学年でしたが、授業中はずるずるいし、問題児ばかりでした。そ



んな僕らをまとめてくれたのが北田先生でした。特に4回生では先生のゼミでもとお世話になりました。先生は誰かが体調を崩したら誰よりも真剣に心配して下さいました。時には厳しく、でもダジャレが大好きで僕らを楽しませてくれました。昼ご飯を先生とゼミ生で食べる時間が大好きでした。先生は僕達をどこまでも信じてくれていました。そんな心優しい先生だからこそ最後には全員まとまり、管理栄養士国家試験合格100%を達成できました。先生はいつでもカッコイイお父さんのような存在です。今すぐにも学生に戻りたくります。そんな気持ちにさせてくれる健康栄養学科の先生方、特に北田先生にとっても感謝しています。

白銀 敦司 先生「関西中央高等学校 3年4組担任」 厳しさの裏にある優しさ



岡橋 紗弥香 さん
関西中央高等学校
特別進学コース3年4組在籍

「この先生は絶対怖い。」これが私の白銀先生の第一印象でした。高校生活が始まり、まだ中学生気分、毎日不安でいっぱいいな私たちに喝を入れ、高校生というものを教えてくださいました。高校生活にも慣れた頃、放課後に白銀先生とたわいもない話をしている中で、クラス

の一人一人の個性や性格を話してくださいました。このとき、私は初めて白銀先生の優しさに触れたような気がしました。そして、「怖い」という印象から「優しい」という印象に変わりました。それから三年間、私たちが正面から向き合ってくれる、一番話しやすい担任の先生です。白銀先生は私たちに「妥協の人生を送るな」と口癖のようにおっしゃいます。これは、私たちの将来のことを考えてくれているからこそ言葉だと思えます。私は、これが厳しさの裏にある白銀先生の優しさだと思っています。



ました。このとき、私は初めて白銀先生の優しさに触れたような気がしました。そして、「怖い」という印象から「優しい」という印象に変わりました。それから三年間、私たちが正面から向き合ってくれる、一番話しやすい担任の先生です。白銀先生は私たちに「妥協の人生を送るな」と口癖のようにおっしゃいます。これは、私たちの将来のことを考えてくれているからこそ言葉だと思えます。私は、これが厳しさの裏にある白銀先生の優しさだと思っています。

西畑 路代 先生「畿央大学キャリアセンター 職員」 社会人、頑張っています!!



山下 愛子 さん
畿央大学健康栄養学科2013年卒業
フジッコ株式会社勤務

私は、フジッコ株式会社の営業として社会人1年目をスタートしています。現在、担当店舗を任せ売り場作りに取り組んでいます。定番商品以外に、最近は水煮とフルーツセラピー(ゼリー)に力を入れています。とても充実した毎日を送っています。この会社でこの仕事が出来て本当に良かったです!!私にとって就職活動は「自分

を見つめ直し、成長できるきっかけ」でした。多くの人に支えてもらったと感謝しています。キャリアセンターの西畑さんにはお世話になりました。エントリーシートや履歴書を何度も添削(ちなみに添削してもらったものは全部通りました)、模擬面接も何度かしていただきました。就活で落ち込んだ時はキャリアセンターに行って西畑さんと話していたように思います。いつも励まし、背中を押して頂き本当に心強かったです。ありがとうございます。今後は「食や健康の大切さを多くの人々に伝え、健康長寿に貢献したい」という学生時代からの夢を実現します!



山下さんはとても印象的な学生さんでした。将来のビジョンをしっかり持ち、努力していた姿が思い出されます。彼女は強い意志の人でした。また、自分の思いをきちんと表現し、伝えられる人でもありました。彼女の明るく前向きな人柄と頑張っている姿に、いつも私のほうが元気をもらっていたように思います。彼女のような存在は、後輩たちの励みになると思っています。頑張ってください。

Comment

畿央大学

19日(土)～20日(日)
 大学入試センター試験
 23日(水) 一般入試前期A日程
 24日(木) 一般入試前期B日程
 26日(土) 畿央大学公開講座
 26日(土)～27日(日)
 運動器リハビリテーション
 セミナー実践編
 27日(日) 一般入試前期C日程



畿央大学公開講座

9日(土) 理学療法特別講演会
 16日(土) プレ・エントランスセミナー
 23日(土)～24日(日)
 ニューロリハビリテーション
 セミナー実践編



理学療法特別講演会

7日(月)
 壮行会



桜井冬のプチ文化祭

5日(火)～6日(水)
 推薦一般人試(専願・併願
 人権教育講演会
 20日(水) 表現・情報コース学生未公演
 23日(土) 蘭友会(同窓会)入会式
 28日(日) 送別式



表現・情報コース学生未公演

関西中央
 高等学校

畿央大学
 付属幼稚園

5日(土)
 出初式
 8日(火) 第3学期始業式
 9日(水) 入園説明会
 17日(木) Kioオープンガーデン
 29日(火) 人形劇観劇



第3学期始業式

22日(木)
 21日(金)

発表会予行演習
 お作法参観



豆まき

3月

2日(土)～3日(日)
 人間環境デザイン学科
 卒業研究・作品展『大卒業展』
 10日(日) 一般入試後期日程
 19日(火) 10周年記念モノメント贈呈式
 29日(金) 卒業式・卒業パーティー
 31日(日) 新入生ブレイスメント
 スタート・キャンパス歓迎会
 オープンキャンパス



卒業式

1日(金)
 21日(木)

第47回卒業証書授与式
 入学説明会



第47回卒業証書授与式

4月

2日(火)
 4日(木) 入学式
 ～5日(金)
 新入生宿泊研修



新入生宿泊研修

9日(火) 第50回入学式
 10日(水) 新入生歓迎会
 19日(金) 春季校外学習
 19日(金)～20日(土)
 フレッシュマントレーニング
 キャンプ(1年)
 21日(日) 蘭友会(同窓会)総会・
 懇親会



入学式

8日(月)
 12日(金)
 23日(火)
 30日(火)

第1学期始業式
 第35回入園式
 保育参観日
 新入園児歓迎会



新入園児歓迎会

5月

12日(日)
 26日(土) オープンキャンパス
 29日(水) 開学10周年記念式典・祝賀会
 奈良原中央卸売市場との
 包括連携協定調印式



奈良原中央卸売市場との包括連携協定締結式

1日(水) 部活動激励会
 2日(木) 新体力テスト
 8日(水)～10日(金)
 校内合宿(2年)
 14日(火) 出張授業「EUがあなた
 の学校にやってくる」
 21日(火) 創立記念日
 24日(金) 校内朗読コンテスト



出張授業「EUがあなたの学校にやってくる」

7日(火)
 8日(水)
 13日(月)
 23日(木)

参観日・父母の会総会
 Kioオープンガーデン
 防火映画鑑賞
 春の遠足



春の遠足

6月

2日(木) 運動器リハビリテーション
 セミナー基礎編
 9日(日) オープンキャンパス
 15日(土) 開学10周年記念特別講演会
 22日(土)～23日(日)
 ニューロリハビリテーション
 セミナー基礎編
 28日(金) 奈良原榎原市との包括連
 携協定調印式



開学10周年記念「絹谷幸二画伯講演会」

21日(金)
 26日(水)

スポーツ大会
 クリーンキャンペーン



スポーツ大会

1日(土)
 3日(月)
 13日(木)
 16日(日)
 21日(金)
 24日(月)
 25日(火)
 26日(水)

卒園児招待日
 Kioオープンガーデン
 園外保育(畿央大学)
 日曜参観日
 プール開き
 人形劇観劇(年長組)
 Kioオープンガーデン
 避難訓練(地震体験)



プール

畿央大学開学10周年記念植樹式



5月26日(日)、「畿央大学では、開学10周年記念式典が盛大に執り行われ、各学科の卒業生代表がスピーチを行い、建学の精神が実践されていることに喜びを感じました。(P6) 10参照)

式典終了後、正午過ぎから、同窓会から寄贈したソメイヨシノザクラの植樹式を行いました。

晴天の下、司会者の発声にあわせて、今年就任された冬木正彦副学長と同窓会会長が紅白のシャベルにて3度土をかけ、皆さんに大きな拍手をいただきました。

昨年5月の同窓会総会で、同窓会の名称「畿桜会」から『桜』の木の植樹を決め、今回同窓会から寄贈したのは、苗木ではなく、立派な樹木です。

大学のシンボルである時計棟の横に植えられた立派な桜の木は、これから毎春、満開の花で新入生を迎え、また

蕾が社会へ巣立つ卒業生を見守り続けていくことでしょう。
植樹式には、式典に出席していた卒業生をはじめ、多くのご来賓の皆様にご参列いただきました。ありがとうございました。



畿桜会(畿央大学・畿央大学短期大学部・桜井女子短大同窓会)より桜の木を寄贈しました。



今年の同窓会総会は
8月7日(水)
11:00からです

日曜日も勤務されている方のために、はじめて平日に開催します。平日ということで…出勤している先生は、全員が食堂に集結します!ランチを用意しています。
働いている方は、ぜひ夏期休暇をとって…! お子様連れでの参加も大歓迎!主婦の方もお気軽にご参加ください。
申込方法など、詳細は大学HPを!!



▲昨年の同窓会サロンの様子(2日間で200名以上の来場!)

10月19・20日(土・日)畿央祭 同窓会サロンのご案内

今年も畿央祭にあわせて、『同窓会サロン』を開設します!先生方との再会の場として、また、お友達との待ち合わせ場所や憩いの場としてご利用ください。
サロンで受付していただくと、特典を用意しています!

「平成25年度蘭友会総会」を開催しました。



「蘭友会」は、桜井女子高等学校・関西中央高等学校の卒業生約9900人のための同窓会組織です。



4月21日(日)に「第46回蘭友会総会」を関西中央高等学校メモリアルホールで行いました。
今年還暦を迎えられる第6回桜井女子高校卒業生の方と第38回関西中央高校を卒業された方々にご案内を送らせていただきました。

第一部は、蘭友会総会。24年度の会計報告・平成25年度の予算案等の審議も無事終わりました。アトラクションは、琉球國祭り太鼓(沖縄の伝統芸能エイサー)でした。この活動に本校の卒業生である内藤真子さんも参加されており、当日も出演していただき、素晴らしい迫力のある演舞を披露していただき感動しました。

第二部は、カトレア食堂にて懇親会を行いました。懇親会では、思い出話やビンゴゲーム等で楽しい時間を過ごしました。

遠くは茨城県や香川県からも参加して下さったこと、感謝しています。

また、部活顧問の先生のご協力、第22回〜第47回のバトン部卒業生で21名もの方々が集まって下さいました。偶然にも第1回と第6回の卒業生の方でバトン部に所属しておられた方がおられ、思いがけない大先輩との出会いに喜び、写真を撮ったり和やかな雰囲気になりました。また「これを機に毎年総会に参加させて頂きたい」とありがたいお声もいただきました。

これからは、部活動やクラス・コース毎の同窓会を兼ねて総会に集まっていただけだと幸いです。
皆様からご意見をいただき、蘭友会の活動をより一層活発化していきたいと役員一同も努力してまいります。ご指導、よろしくお願ひ致します。

来年の蘭友会総会は、平成26年4月20日(日)午前10時から、関西中央高等学校メモリアルホールにておこないます。皆様の多数のご参加お待ちしております。

今春ご退職された方々をご紹介します。お世話になりました。

- 《畿央大学》
 - 看護医療学科
 - 准教授・畑野富美
 - 助手・石田めぐみ
 - 健康栄養学科
 - 助手・新谷実希
 - 助手・吉居尚美
 - 現代教育学科
 - 教授・柳友立一
 - 准教授・高見仁志
 - 助産学専攻科
 - 教授・宮田英子
- 《事務局》
 - 健康支援センター・上田依子
 - ボランティアセンター・野口佳奈子
 - 教職支援センター・中里弘恵
- 《法人事務局》
 - 企画部・山本和代
 - 情報センター・森谷孝治
- 《関西中央高等学校》
 - 教諭・藤井良彦
 - 常勤講師・加藤統久
 - 常勤講師・大垣圭史
 - 常勤講師・喜多記美恵
 - 常勤講師・金井俊介
- 《畿央大学付属幼稚園》
 - 職員・林絹子



●2014年度 畿央大学入学試験日程

※センター試験利用入試を除く

試験区分		試験日	合格発表日
AO入試	1次選考	9月22日(日)	9月28日(土)
	2次選考	10月13日(日)	10月19日(土)
公募推薦入試	A日程	11月9日(土)	11月19日(火)
	B日程	11月10日(日)	
	C日程	11月17日(日)	11月23日(土)
一般入試	前期A日程	1月22日(水)	2月3日(月)
	前期B日程	1月23日(木)	
	前期C日程	1月26日(日)	
	中期日程	2月19日(水)	2月25日(火)
	後期日程	3月10日(月)	3月15日(土)
社会人入試		11月3日(日)	11月9日(土)
3年次編入学	前期日程	10月13日(日)	10月19日(土)
	後期日程	2月9日(日)	2月15日(土)

※入学試験成績優秀者には奨学金制度があります。詳しくはお問い合わせください。

●2014年度 大学院健康科学研究科入学試験概要

募集人員	(人)		入学試験日程	
	課程(修業年限)	定員	試験区分 1期	試験区分 2期
修士課程(2年)	20	15	5	
博士後期課程(3年)	5	3	2	

●2014年度 助産学専攻科入学試験概要

募集人員	(人)		入学試験日程	
	専攻科(修業年限)	定員	試験区分 推薦	試験区分 一般
助産学(1年)	10	6	4	

●2014年度に予定される大学改革について

<入学定員の変更> (人)

学科	現行	2014年度
理学療法	60	70
健康栄養	70	90
人間環境デザイン	45	50
現代教育	145	195

※いずれも認可申請中

<施設整備・学生生活の充実>

- 新校舎(P棟)の建設
- 食堂棟(R棟)の増築 など

<主なカリキュラムの変更>

健康栄養学科コース制の新設

- 臨床栄養コース
- スポーツ栄養コース
- 食品開発コース

※1年次は共通カリキュラムで2年次より3コースから選択現代教育学科-特別支援教育の充実

- 特別支援教育に関する科目の充実
- 「特別支援学校教諭免許」の取得を可能に(認可申請中)

<研究力向上に向けた取組み>

- 大学院教育学研究科の設置(認可申請中)
- 「ニューロリハビリテーション研究センター」の充実

畿央大学2013年度入試結果について

2013年度は全国的に理系人気や資格志向が顕著な入試となりましたが、近年高倍率の続いていた畿央大学は、公募推薦入試では昨年なみの志願者数にとどまりました。志願者が減少したのは、昨年の入試で特に倍率が高くなった健康栄養学科と、現代教育学科です。中でも健康栄養学科は15%の減少で、倍率も128倍から9.0倍へダウンしました。

一般入試では昨年の倍率が公募推薦に比べて低かったことも影響して、志願者が大幅に増加しました。中でも看護医療学科は50%を超える増加となっています。昨年の倍率が下がったことによる反動で、今年は11.0倍までアップしました。次に多かったのが現代教育学科で、35%の増加となりました。国立大学との併願が多いため、センター試験の平均点ダウンの影響が考えられます。公募推薦では減少した健康栄養学科、小幅増だった人間環境デザイン学科ともに20%以上の増加となりました。一方、最も増加の少なかった理学療法学科は、合格者数の増えた分だけ倍率はややダウンしました。

大学院・助産学専攻科の2013年度入試結果について

社会人の入学に配慮した大学院健康科学研究科の人気は高く、修士課程では定員を上回る27名の入学者がありました。本学卒業生を含む社会人の出願が多く、優秀な入学者をむかえることができました。博士後期課程についても6名の入学者をむかえ、定員を確保することができました。臨床の現場では、最先端の知識と技術を身につけたハイレベルな専門家が必要とされています。畿央大学の大学院は、2014年度入試においても志願者を集めそうです。

一方、2012年4月に誕生した助産学専攻科は、1年目こそ入学者が少なかったものの、2013年度入試では10人の入学者を獲得しました。助産師の社会的ニーズは非常に高く、また今後さらに多くの大卒の看護師が生まれる中で、1年で助産師の資格取得が可能な助産学専攻科の人気は、ますます高くなることが予想されます。

2014年度畿央大学が変わります!

すでにHPや雑誌等で紹介されているように、2014年4月に畿央大学では大きな改革が予定されています。受験生に最も注目されているのは定員の増加で、全体で85名と20%を超える大幅増となります。また健康栄養学科では、特色を持った管理栄養士養成をめざして、コース制を取り入れます。現代教育学科では特別支援に関する科目を設置すると同時に、特別支援学校教諭免許の資格取得を可能にする予定です。さらに大学院教育についても、教育学研究科の設置をめざしています。5年連続の志願者増や倍率アップに対する反動は予想されるものの、畿央大学は2014年入試でも注目を集めそうです。



8/17(土)・8/18(日)・9/15(日)
10/6(日)・10/19(土)・10/20(日)・11/24(日)

9/15(日)・11/24(日)は入試対策講座開催
10/19(土)・20(日)は畿央祭も同時開催!!

●関西中央高等学校入試概要

課程	全日制(普通科)(共学)
募集人員	特別進学コース——(推薦)(一般専願・一般併願) 60名 (畿央大学高大連携特別推薦制度有) スタンダードコース——(推薦)(一般専願・一般併願) 140名 表現・情報コース——(推薦)(一般専願・一般併願) 140名 *特別進学コースを志願する者は、回し合格があります。 【特別部活動(平成26年度より新設)】 アスリートコースとして強化してきた野球、ソフトテニス、剣道の3部に、バスケットボール(男子)、バレーボール(女子)、新体操(女子)の3部を加えた6部を「特別部活動」として、強化を図ります。
受験料	15,000円
出願期間	推薦および一般専願 平成26年1月14日(火) 一般併願 平成26年1月15日(水)~17日(金) いずれも9:00~16:00(本校窓口)受付時に受験票を交付します。
試験日	平成26年2月6日(木) 一般入試(専願・併願)の学力試験 平成26年2月7日(金) 一般入試(専願)の面接試験、推薦入試、
試験内容	(1)推薦入試(作文は600字程度) ○特別進学コース : 作文、面接 ○スタンダードコース: 作文、面接 ○表現・情報コース : 作文、面接 (2)一般入試(専願は面接試験付加) ○特別進学コース : 国語、英語、数学、社会、理科 ○スタンダードコース: 国語、英語、数学 ○表現・情報コース : 国語、英語、数学

合格発表	平成26年2月8日(土) 午後発送
ファミリー入試制度 (A日程入試における推薦・専願のみ)	以下のいずれかに該当する受験生は、受験料・入学金を免除いたします。 ・本人が旧桜井女子短期大学付属幼稚園の卒園生。 ・家族(2親等以内)が、本学園の幼稚園、高校、短大、大学の卒業生または在学学生。

【オープンスクール】	全体会(学校紹介、コース説明、部活動紹介等) 体験学習、新校舎見学ツアー、部活動見学ツアー、個別相談会 7月27日(土) 9:30開会(9:00受付) 8月24日(土) 13:00開会(12:30受付)
【入試説明会】	全体会(学校紹介、募集概要説明等) コース別説明、新校舎見学ツアー、部活動見学ツアー、個別相談会 10月12日(土)、11月9日(土)、11月16日(土)〈名張会場のみ〉、12月7日(土) いずれも13:00開会(受付12:30~)
【入試対策説明会】	全体会(学校紹介、募集概要説明等) 科目別入試対策講座(過去問を用いた模擬入試) 部活見学ツアー、個別相談会 12月21日(土)、12月23日(月) いずれも9:30開会(受付9:00~)

●畿央大学付属幼稚園募集要項

募集人員 3年保育(3歳児 満3歳児を含む)60名
2年保育(4歳児)若干名
1年保育(5歳児)若干名

受付期日 平成25年7月1日(月)
午前8時30分より

出願方法 所定の入園願書に選考料3,000円を添えて提出してください。

入園許可 面接の上、入園許可を通知します。なお、面接の日時は願書受付後通知します。

Kioオープンガーデン

付属幼稚園では園の紹介と子育て支援を目的に、Kioオープンガーデンを実施しています。就園前のお子様と一緒にお気軽にご参加ください。詳細については、直接園にお問い合わせください。

8月2日(金)	体育の先生と水遊びを楽しもう	入園説明会④
8月23日(金)	みんなと一緒に水遊びを楽しもう	入園説明会⑤
9月9日(月)	園庭で遊ぼう	入園説明会⑥
10月21日(月)	歩いて散歩にでかけよう	
11月7日(木)	幼稚園の先生と一緒に遊ぼう	
11月30日(土)	子ども成長・造形展を楽しもう	
1月22日(水)	通園バスに乗って出かけよう	

※8月2日、8月23日はプール遊びです。水着・水泳帽・タオルを持参してください。雨天時はホールで遊びます。

預かり保育

月~金曜日の午後6時まで常勤の教員により「預かり保育」を行い、保護者の子育て支援を行います。夏期休業中も特別預かり保育を実施しています。



私学の経営状態は分かりやすく社会に公開することが求められています。本学園では毎年ホームページで財務諸表を公開していますが、今号の広報誌「カトレア」では平成24年度決算の状況について報告をさせていただきます。

冬木学園財務状況の公開について

平成24年度の冬木学園の業務及び財産の状況について監事監査を受けた上で、平成25年5月28日の理事会において、平成24年度事業報告と収支決算が審議承認され、同日、評議員会に報告がされました。

平成24年度は、畿央大学に助産学専攻科(定員10名)が開設されましたが、学生・生徒の収容定員総数に大きな変動はなく、収入の大きな柱である「学生生徒等納付金」に関しては、ほぼ横ばい(対前年度比101.4%)となりました。帰属収入に対する「学生生徒等納付金」の構成比率は76.7%であり、全国平均指数平成23年度大学法人(医歯系大学を除く)平均値、以降本文中の全国平均指数はこれに同じ)72.7%に比較して高い比率となっています。好調な畿央大学学生募集の検定(受験)料の増加により、「手数料」は、32,000千円強の増加(対前年度比117.4%)となりました。「寄付金」に関しては、畿央大学開学10周年記念募金として関係各位にお願いを申し上げていることから、対前年比107.9%となり、増加の傾向を示しています。帰属収入に対する構成比で10%以上を占める「補助金」に関しては、学校運営の基本的な経費に対する国庫及び地方自治体補助金(経常費補助金)は継続的に減少しておりますが、平成24年度末に国の補正予算によるICT(情報通信技術)関連の補助金募集があり、その採択によってほぼ横ばい(対前年度比102.0%)となりました。以上のような要件はありませんが、帰属収入は前年度から約80,000千円増加し、3,474,140千円(対前年度比102.4%)となり、大きく微増となりました。

畿央大学において平成26年度の収容定員増の計画が進んでいます。そのための校舎を増築するため、評議員会・理事会の審議承認の上で、第2号基本金(将来取得する固定資産に充てるための資金)の計画に基づく組入れを500,000千円おこないましたので、平成24年度に完成した関西中央高等学校の新校舎の組入額(第1号基本金、約300,000千円)と合わせ、それ以外の組入額と資産売却等による取崩額を相殺し、817,038千円の基本金組入額(対前年度比283.5%)となりました。帰属収入がごく微増で、基本金組入額が大きく増加したことから、消費収入(帰属収入から基本金組入額を引いた額)は、2,657,102千円(対前年度比85.5%、449,049千円の減少)となりました。

支出に関し最も大きなウエイトを占める「人件費」は、微増(対前年度比103.0%)となっており、人件費比率(帰属収入に占める人件費の割合)は48.2%で、全国平均指数(54.0%)と比較して良好な状態

■平成24年度 貸借対照表 (平成25年3月31日現在)

資産の部		(単位：千円)		
科目	本年度末	前年度末	増	減
土地	4,895,609	4,895,609	0	
建物	5,805,075	5,548,433	256,641	
構築物	394,082	415,751	-21,668	
教育研究用機器備品	732,767	764,994	-32,227	
その他の機器備品	25,985	24,528	1,456	
図書	235,231	228,153	7,078	
車輛	0	1,015	-1,015	
建設仮勘定	29,925	152,810	-122,885	
その他の固定資産	2,322,668	1,821,918	500,750	
固定資産 計	14,441,344	13,853,214	588,130	
現金預金	4,784,484	5,115,575	-331,090	
その他の流動資産	1,522,369	1,319,325	203,043	
流動資産 計	6,306,853	6,434,901	-128,047	
資産の部合計	20,748,198	20,288,116	460,082	

負債の部		(単位：千円)		
科目	本年度末	前年度末	増	減
退職給与引当金	244,680	250,267	-5,586	
長期未払金	99,961	62,572	37,388	
固定負債 計	344,641	312,840	31,802	
未払金	222,294	136,338	85,955	
前受金	664,158	701,813	-37,654	
預り金	104,535	89,484	15,050	
流動負債 計	990,998	927,636	63,351	
負債の部合計	1,335,630	1,240,476	95,153	

基本金の部		(単位：千円)		
項目	本年度末	前年度末	増	減
第1号基本金	15,936,896	15,620,758	316,138	
第2号基本金	500,000	0	500,000	
第3号基本金	145,556	144,656	900	
第4号基本金	223,000	223,000	0	
基本金の部合計	16,805,452	15,988,414	817,038	

消費収支差額の部		(単位：千円)		
項目	本年度末	前年度末	増	減
翌年度繰越消費収入超過額	2,607,116	3,059,225	-452,109	
消費収支差額の部 合計	2,607,116	3,059,225	-452,109	

負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計		(単位：千円)		
項目	本年度末	前年度末	増	減
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部 合計	20,748,198	20,288,116	460,082	

※千円未満切捨のため、合計に差異のある部分がある

■財務分析表

指標	計算式	冬木学園	私学平均*	望ましい傾向
		24年度	23年度	
人件費比率	人件費/帰属収入	48.2%	54.0%	低い値が良い
教育研究経費比率	教育研究経費/帰属収入	31.0%	30.9%	高い値が良い
管理経費比率	管理経費/帰属収入	9.8%	8.7%	低い値が良い
自己資金構成比率	自己資金/総資金	93.6%	86.9%	高い値が良い
総負債比率	総負債/総資産	6.4%	13.1%	低い値が良い

※私学平均は医歯系法人を除く大学法人の平均

にあり、学費の機器等が開学10年で修理を要する度合いが高まってきたことや、関西中央高等学校刷新計画による諸経費の増加で、対前年度比109.8%となりました。教育研究経費比率(帰属収入に占める教育研究経費の割合)が全国平均指数を下回っており、教育研究内容の改善という意味合いでは向上したと言えます。平成24年度教育研究経費比率は31.0%(全国平均指数30.9%)となりました。管理経費に関しては、補助金や会計の適正な運用のため、平成24年度に様々な改善をおこない、それに伴う支出が約67,500千円の増加(対前年度比124.8%)となりましたが、この増加は当該年度一過性のものであり、次年度には持ち直します。以上、「人件費」「経費」及び「資産処分差額」等を合計した消費支出は3,109,211千円(対前年度比107.0%)となり、消費収支差額(消費収入と消費支出の差額)は、452,109千円の消費支出超過となりました。学園中長期計画に基づき、

本稿関連の詳細内容につきましては、学園のホームページをご覧ください。

畿央大学及び関西中央高等学校の更なる発展のための投資をおこなう時期にあたり、少測されます。

貸借対照表に関し、関西中央高等学校の新校舎により建物が増加している点その分「建設仮勘定(建物)が完成するまでに支出した建築費等」は減少、畿央大学の校舎新築のための第2号基本金に相当する「その他の固定資産」が増加している点等が特筆的な内容としてあげられます。貸借対照表関連の財務指標についても、消費収支計算書の指標と同様、全国平均指数と比較して安全性財務の健全性に関し、非常に良い数値となっています。この理由の大きなところは、全て自己資金(借入金)の無い状態で学園運営が行われていることですので、今後の事業計画の推進に際しては、財務の健全な状態をしっかりと確保しながら安全かつ効果的に進めていくことが大切であると言えます。

■平成24年度 冬木学園消費収支計算書

収入の部		(単位：千円)	
科目	H24決算額		
学生生徒等納付金	2,665,271		
手数料	215,694		
寄付金	41,551		
補助金	424,119		
資産運用収入	38,790		
資産売却差額	18,565		
事業収入	40,400		
雑収入	29,746		
帰属収入合計	3,474,140		
基本金組入額合計	-817,038		
消費収入の部合計	2,657,102		

支出の部		(単位：千円)	
科目	H24決算額		
人件費	1,674,635		
教育研究経費	1,075,853		
管理経費	339,830		
資産処分差額	18,891		
消費支出の部 合計	3,109,211		
当年度消費超過額	452,109		
前年度繰越消費収入超過額	3,059,225		
翌年度繰越消費収入超過額	2,607,116		
帰属収入－消費支出	364,929		
消費収入－消費支出	-452,109		

※千円未満切捨のため、合計に差異のある部分がある

手数料

この多くは入学試験の検定料です。

寄付金

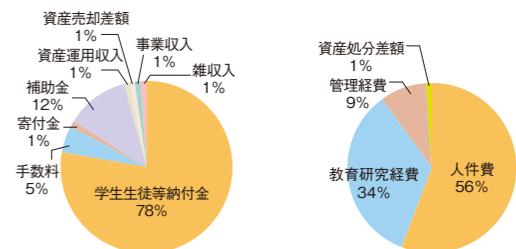
保護者の後援会による助成、科研費によって購入した図書・備品の現物寄付を含みます。

事業収入

大学の受託事業、女子借上げマンション家賃などです。

基本金組入額

学校法人がその活動に必要な資産を継続的に保持するために、帰属収入から基本金に組み入れる金額を示します。固定資産をあらわす1号基本金、奨学基金などの3号基本金、常時保持すべき運転資金にあてる4号基本金等があります。



帰属収入の内訳

消費支出の内訳